

英語表記の日本語訳における注意点

欧米での英語表記を、それぞれの単語の意味を基本として日本語に直訳すると、英語の原文とは異なった意味になる場合があるので、注意が必要である。以下に主なものを列挙する。

① colorectal cancer

「結腸直腸癌」ではなく、「大腸癌」と訳すべきである。

日本の大腸癌診療において「結腸直腸癌」という語は一般的に用いられていない。

② metastatic colorectal cancer

直訳では「転移性結腸直腸癌」であるが、実際に意味する内容は「遠隔転移を有する大腸癌」である。転じて、欧米の論文では「切除不能な大腸癌」ないしは「切除不能な再発大腸癌」の意味で用いられている。

わが国の腫瘍学において、「転移性」とは他臓器のがんからの転移を意味する。従って、「転移性大腸癌」とは、他臓器のがんが大腸に転移したものを示す。metastatic colorectal cancer を「転移性結腸直腸癌（転移性大腸癌）」と訳すのは明らかに誤りである。

③ advanced colorectal cancer

直訳では「進行結腸直腸癌」であるが、実際に意味する内容は「切除不能な大腸癌」である。

わが国では「進行癌」は、固有筋層以深に浸潤した大腸癌を意味し、「進行癌」は「早期癌」に対応する語である。逆に、わが国における「進行癌（固有筋層以深に浸潤した大腸癌）」を advanced colorectal cancer と英訳するのは誤りである。

④ early stage colorectal cancer

「早期大腸癌」と訳すのは誤りである。通常は「Stage I~III の大腸癌」を意味する。一方、わが国では「早期癌」とは粘膜下層までの浸潤にとどまる癌である。

⑤ colon cancer

「結腸癌」と「colon cancer」の解剖学定義はかならずしも同じではない。欧米の臨床試験における adjuvant therapy for colon cancer の colon cancer は、通常、結腸癌だけではなく直腸S状部癌（RS癌）、上部直腸癌（Ra癌）をも含んでいる。

同様に、「直腸癌」と「rectal cancer」の定義も必ずしも同じではない。

⑥ anal canal cancer

「肛門管癌」は、わが国では「肛門管に発生する悪性腫瘍ないしは直腸から肛門管に進展した腺癌」を意味するが、欧米では「扁平上皮癌」に限定して用いられることが多い。